

部活動の地域展開に係る取組状況と今後の方向性について

1 検討会議

第2回（R5.8.3）

本市における新たなスポーツ・文化芸術活動の在り方について
（受入調査の報告、モデル地域の現状）

第3回（R6.3.13）

次年度の実践モデル地域、ロードマップについて
（ニーズ調査の報告、先進地域視察の報告）

2 取組状況

（1）実践モデル

地域連携モデル（志和地域）

【実績】

- ・ 8部活動12名の外部指導者が493回（R6.2月末）指導

【成果】

- ・ 生徒にとって、専門的な指導を受けることができた。
- ・ 志和地域の指導者がほとんどだったので、地域内で子どもたちのあいさつが盛んになった。

【課題】

- ・ 指導者の報償費が低く、交通費もなかった。
- ・ 継続指導が難しい指導者がいた。

（2）部活動指導員

9校10名配置

【成果】

- ・ 生徒への専門的な指導や効果的な活動につなげることができた。
- ・ 教職員が、教材研究や授業準備に係る時間を確保することができ、時間外在校時間を短縮できた。

【課題】

- ・ 限られた人数しか配置することができていない。

3 今後の方向性

- ・ 大学連携モデル、競技団体連携モデルの設置
- ・ 部活動支援コーディネーターの配置

令和6年度 部活動の地域展開に係る実践モデル地域の設置等について

部活動の地域展開の在り方や方法を研究するために、実践モデル地域を設置する。実践モデル地域は、段階的に拡充することとする。

【令和6年度モデル地域】

1 志和地域(志和小・中学校) <継続>

【地域連携モデル】

志和小中学校運営協議会

※体育振興会、教育振興会と連携し指導者を派遣

2 西条地域(西条中学校、松賀中学校、中央中学校、向陽中学校)

黒瀬地域(黒瀬中学校)

【大学連携モデル】

広島大学、広島国際大学

※5中学校に40人の学生を派遣

3 市内全域

【競技団体連携モデル】

柔道連盟、剣道連盟、バスケットボール協会

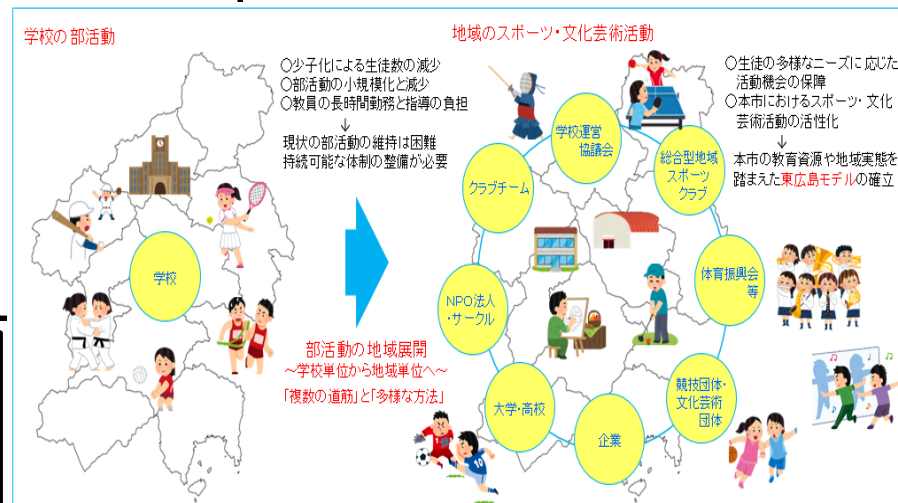
※各団体から3人の指導者を派遣

【地域展開のパターン例】

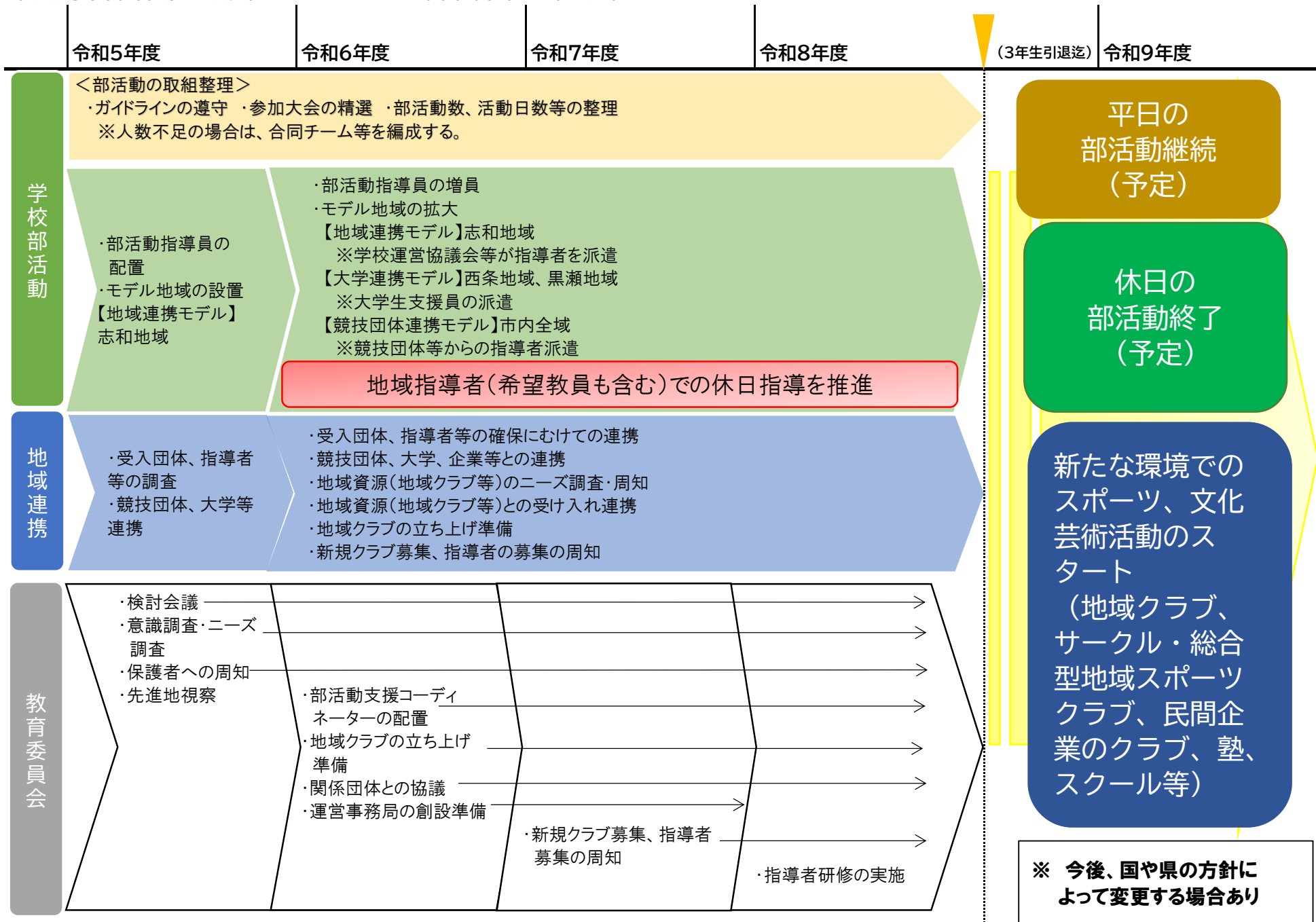
- ・学校運営協議会
- ・総合型地域スポーツクラブ
- ・体育振興会 ・競技団体
- ・文化芸術団体
- ・NPO法人 ・サークル
- ・クラブチーム
- ・大学 ・高校 ・企業

【学校部活動の支援・地域展開の推進】

- 部活動指導員の増員
- 部活動支援コーディネーターの配置



東広島市部活動地域展開 ロードマップ(案)(令和6年3月)



※ 今後、国や県の方針によって変更する場合があります